２－２　社会教育の支援

生　涯　学　習

計画

生涯学習大阪計画に基づき、主体的に生涯学習活動に取り組む区民を増やす。

目標

各事業の参加者数：定員の70%以上

生涯学習の取組みへの参加者のうち、「取組みを通じて新たな出会いや気づきがあった」と答える区民の割合：70%以上

実績・評価

・**「生涯学習一日体験　学び舎つるみ」の開催**

→生涯学習推進員連絡会と協働し、気軽に生涯学習にふれる機会の提供として、生涯学習のすそ野を広げ、区における生涯学習の推進を目的に開催している。（※30年度は台風のため、11月おもてなし茶会と同時開催。）

・**「生涯学習セミナー」の開催**

→生涯学習推進員連絡会と協働し、日本の伝統文化への関心を持ってもらう機会の提供を目的としている。30年度は「百人一首と競技かるた」を開催し、アンケートでは、95.9%の方から、「取組みを通じて新たな出会いや気づきがあった」との回答があった。

・**「おもてなし茶会」の開催**（※11月は、生涯学習一日体験「学び舎つるみ」と同時開催）

→生涯学習推進員連絡会と協働し、日本の伝統文化の一つである茶道について気軽に体験する機会を提供し、生涯学習への関心を持ってもらう機会とすることを目的としている。30年度は、11月に学び舎つるみと同時開催し、3月にむらさき亭で開催した。アンケートでは、「取組みを通じて新たな出会いや気づきがあった」との回答が63%（11月開催分）と、71.2%（3月開催分）であった。

・**「家庭教育支援講座」の開催**（※学校と連携し、出張型家庭教育支援講座として開催）

→子どもや保護者を中心に、家庭教育に関する学習機会の提供を目的として開催している。30年度は学校と連携し、出張型家庭教育支援講座「眠育を通して子どもたちの心身の発達を守る」を開催した。

生涯学習一日体験
学び舎つるみ

11月10日開催（11月おもてなし茶会と同時開催）

参加者350人

生涯学習セミナー

11月17日開催

参加者110人

おもてなし茶会

11月10日・3月23日開催

230人（3/23分）

家庭教育支援講座

1月31日開催

参加者99人

評　価

	目標	結果
各事業の参加者数	定員の70%以上	113%
生涯学習の取組みへの参加者のうち、「取組みを通じて新たな出会いや気づきがあった」と答える区民の割合	70%以上	71%

元年度の取組み

- 【継続】「生涯学習一日体験　学び舎つるみ」の開催　1回
- 【継続】「生涯学習セミナー」の開催　1回
- 【継続】「おもてなし茶会」の開催　2回
- 【継続】「家庭教育支援講座」の開催　1回
- 【継続】生涯学習ルームフェスティバルの開催　1回
- 【継続】生涯学習ルーム事業の運営支援
- 【継続】生涯学習ルーム活動の広報周知

２－２　社会教育の支援

人　権　教　育

計画

大阪市人権啓発教育・啓発計画に基づき、人権教育・人権啓発の取組みを実施し、区民の人権意識の向上を図る。

目標

各事業の参加者数：定員の70%以上

各事業における参加者のうち、「人権に対する考え方が変わった」「新たな気づきがあった」と回答する区民の割合：70%以上

実績・評価

・人権啓発推進セミナーの開催

→小・中学生の保護者や学校関係者などを中心に、子どもの人権について学ぶ機会を提供することを目的としている。30年度は「学び座」の映画上映と講演及びソーラン演舞を開催し、アンケートでは、67.6%の方から、「取組みを通じて新たな出会いや気づきがあった」との回答があった。

・ヒューマンシアターの開催

→幅広い年代を対象に、様々な観点から人権課題について学び、考える機会を提供することで、区民の人権意識の向上を図ることを目的としている。30年度は「TICKETS TO REAL YOU～ゴスペルの歴史から学ぶ、ホントの自分を活かすためのヒント～」を開催し、アンケートでは、96.6%の方から、「取組みを通じて新たな出会いや気づきがあった」との回答があった。

・校下別人権学習会の開催

→各校下で開催される「ふれあい喫茶」「食事サービス」や「各校下でのイベント」などの機会をとらえ、地域の特性を活かしたテーマで学習会を開催している。30年度は14回開催した。

・街頭啓発の実施

→憲法週間と人権週間に合わせ、人権尊重の明るいまちづくりをめざすことを目的に実施している。

人権啓発推進セミナー

1月19日開催

参加者320人

ヒューマンシアター

3月21日開催

参加者370人

校下別人権学習会

開催回数　14回

街頭啓発

5月1日、12月4日、5日
開催

評　価

	目標	結果
各事業の参加者数	定員の70%以上	80%
各事業における参加者のうち、「人権に対する考えが変わった」「新たな気づきがあった」と回答する区民の割合	70%以上	83%

元年度の取組み

- 【継続】「校下別人権学習会」の開催　12校下
- 【継続】「街頭啓発」の実施
- 【継続】「わくわくこどもフェスタ」の開催　1回
- 【継続】「人権啓発推進セミナー」の開催　1回
- 【継続】「ヒューマンシアター」の開催　1回
- 【継続】パネル展＆ミニシアターの開催

２－２　社会教育の支援

環境をキーワードにした取組みの推進

計画

関係局や企業等と連携しながら、身近な生活の中で実践できるエコ活動に関心を持つ機会を創出する。

目標

各事業の参加者数：定員の70%以上

実績・評価

・環境フェスタ　三ツ矢サイダー「水の未来と環境教室　～こどもSDGsスクール～」の開催

→例年、企業の社会貢献活動を活用し、多くの親子で参加できる環境に関するイベントを開催し、楽しく学ぶ体験型講座を実施している。
30年度は、小学4年～6年生に対象ターゲットを絞り、夏休みの自由研究課題の一助として実施し、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」で、17つある国際的な目標のうちの一つである「水」に関連する項目について、世界中に人々が笑顔で暮らせるために、世界で決めた目標であるSDGSを学んだり、「自分ができること」を視点にグループワークや実験を行った。
アンケート結果では、「子どもどうし自ら考え、実験を行うことで、単に机上で学ぶより理解でき、有意義な内容だった。」や「親子ともに環境について、意識していこうと思った。」などの意見があり、環境問題について関心を持っていただくことができた。

・環境学習講座（全3回）（ミニうちわづくり、布ぞうりつくり、桜のお箸つくり）

→環境問題の解決には、市民一人ひとりの環境問題についての理解と認識、環境保全のための積極的な参加や行動が不可欠であり、環境保全に関する気づきや行動を幅広く促すために、環境学習講座を実施している。
より身近なことから始められる環境にやさしいエコライフをテーマとして、各講義を行い、その後、作品作りを行った。
アンケート結果では、「楽しみながら学ぶことができて、家庭でのエコ活動を実践していく。」や「作品の作成方法など、学んだ内容を子ども会や老人会などの地域の方に伝えていく。」などの意見があり、家庭や地域でエコ活動の実践に繋げることができた。

環境フェスタ

8月4日開催

参加者53人

環境学習講座

「ミニうちわづくり」

10月19日開催

参加者8人

環境学習講座

「布ぞうりつくり」

10月25日開催

参加者28人

環境学習講座

「桜のお箸つくり」

10月30日開催

参加者12名

評　価

	目標	結果
事業の参加者数	定員の70%以上	70．1%

元年度の取組み

・【継続】環境学習講座（全3回）の開催